

作業経過検討用

ケースの疾患名	年齢	性別	問題の焦点（検討の焦点）	
外傷性くも膜下出血 外傷性硬膜下血腫	80歳代	男	自信の喪失、逃避の思考が強まっている現状を改善したい	
リハへのニーズ	介入背景となる根拠		臨床思考結果	即興性
物語的R	科学的R		提供している作業	相互交流的R
本人や家族は何を希望しているか	どのような方針が示されているか		実際のプログラム	介入時に気づいた点や変更点についての考察、経過の考察 変更した（または変更する）作業の説明、介入時の即興的な合意形成など
クライアント本人	MOHO要素での考察	⇒	実際に自宅で行っていた 役割の実動作練習	病棟では、個室でNsや介護士さんが来るまでは、誰とも会話することなくテレビだけを見て生活していることが多い。 車椅子へ移乗する事も、トイレに行くことも、歯磨きを行うにもすべてNsコールを使用し、Nsや介護士さんを見てからでなければいけない行動が出来ない。 【意志】「歳だからもういい」「何もしたくない」「早く自宅へ帰りたい」 【課題】自己認識の低下 役割の喪失、自発性の低下 ADL/IADLに介助要す 【習慣】リハビリ以外は ベッド上で生活 ADLはNsや介護士さんに 手伝ってもらおう 【環境】個室、車椅子使用 柵4点、1人でADLが出来ない 家族に会えない リハ以外で会話する機会がない 【行動】「何もしたくない」「家に帰れば何とかなる」 自発的に動くことがない 指示通りの生活 【遂行】歩行時ふらつきあり 筋力低下、耐久性低下 お話し好きだが機会が少ない ADLは介助を要す 〈悪循環〉 交通事故で入院 ↓ 役割喪失、環境の変化 出来ていたことが出来なくなる ↓ 自信の喪失、逃避の思考へ ↓ 機能・耐久性の低下 ↓ 今後の生活が不安 何の要素を変え、 何に波及させると行動が変わるのか？ 悪循環を止める為には？ 良循環にさせるためには何をしたらよいのか？ アドバイスを下さい！！
自宅では、畑仕事・妻の手伝い(洗濯・重い物を運ぶ)が役割で活動的な生活を送っていた。 しかし、交通事故により外傷性くも膜下出血・外傷性硬膜下血腫となり、入院。 ↓ 「何もしたくない」 「家に帰ればなんとかなる」 自発的に動くことがない 指示通りの生活を送っている	意志、習慣化、遂行能力、環境の4つの要素を含み、それらの間のダイナミクスで相互的な交流の結果として、人がどのように作業に就くのかを説明する物である。 作業で語る事例報告より引用 受傷した事より、環境が変化し役割の喪失や1人でADLが出来なくなってしまった。この環境の変化に加え、遂行機能の低下が起こり「ADLは介助してもらおう」「ベッド上の生活」が習慣となってしまう、自己認識の低下・自発性の低下が起こり、「何もしたくない」という行動につながっているのではないかと。		⇒	
	MOHO循環での考察	⇒	ADL、IADL練習	
	人間と環境との関係性の中で生じる同時的かつ交流的な調整を検討していくことが重要である。 作業で語る事例報告より引用 受傷し入院したことにより、役割の喪失、環境の変化、今までできていたことが出来なくなり、自信の喪失が起こり何も逃避の思考へと変化が起きている。自発性が低下することにより、機能・耐久性が低下していくと同時に、A氏の中でも今後の生活に不安を覚えており、負の循環が起こっているのではないかと考える。	⇒	他者とのコミュニケーション	